

日仏美術交流シンポジウム
シュルレアリスムの時代
越境と混淆の行方

Les années surréalistes – « La beauté convulsive » au-delà des frontières プログラム

■10:30～10:45 開会の辞・趣旨説明 **高階秀爾** (日仏美術学会会長、大原美術館館長)

第1セッション 10:45～12:20

基調講演

フランソワーズ・ルヴァイアン (CNRS 研究ディレクター、アンドレ・シャステル研究センター)

「1930年代のフランスと日本におけるシュルレアリスム絵画の曖昧性」

Françoise Levallant,

« Les ambiguïtés de la peinture surréaliste en France et au Japon dans les années 1930 »

速水豊 (兵庫県立美術館学芸員)

「三岸好太郎とシュルレアリスム」

Yutaka Hayami, « Kotaro Migishi et le surréalisme »

■12:20～14:00 昼食

第2セッション 14:00～15:20

河本真理 (広島大学准教授)

マケット
「下絵・模型としてのコラージュ
——シュルレアリスムのイメージの制作プロセス」

Mari Komoto, « Le collage-maquette. Un processus créateur de l'image surréaliste »

鈴木雅雄 (早稲田大学教授)

「絵はいかにして〈動き出す〉のか

——シュルレアリスム美術におけるリズムとフィギュールの問題」

Masao Suzuki,

« Comment un tableau peut-il "s'animer" ? – Figure et rythme dans la peinture surréaliste – »

■15:20～15:35 ティーブレイク

第3セッション 15:35～16:55

村上博哉 (国立西洋美術館学芸課長)

「ミロの寡黙な絵画」

Hiroya Murakami, « Les œuvres taciturnes de Joan Miró »

ファブリス・フラユテズ (西パリ大学ナンテール/ラ・デファンス校准教授)

「ハンス・ベルメールと日本」

Fabrice Flahutez, « Hans Bellmer et le Japon »

■16:55～17:10 ティーブレイク

全体討議 (司会: **高階秀爾**) 17:10～18:00

■18:00 閉会の辞

■お問い合わせ

参加ご希望の方は、住所・氏名および日仏美術交流シンポジウム「シュルレアリスムの時代」参加希望と記したメール (あるいはファックス) を

11月14日 (土) までに下記までお送り下さい。

E-mail : art-francojaponais@digital.email.ne.jp

Tel/Fax : 03-3280-2415

- ・ 恵比寿駅東口から「動く歩道」経由で徒歩10分ぐらいのところにあります。
- ・ 10 minutes à pied depuis la Sortie Est de la gare d'Ebisu (ligne JR Yamanote).

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿 3-9-25

3-9-25, Ebisu, Shibuya-ku,

Tokyo, 150-0013 Japon

